直木賞作家、辻村深月の傑作ミステリーを映画化! あなたさえいなければ、わたしがキョウコだった 森カンナ





学校中の人気を集め、クラスの女王として君臨していた響子。自分の立場も、好きな人も、友達すらも、欲しいものは何でも手に入ると信じていた完璧な高校時代。彼女の傍には、いつも、同じ名前を持つ同級生の今日子がいた。光り輝く太陽と、その光に付き従う影のように。

高校卒業から10年。過去の輝きを失い、地元で地方局のアナウンサーとして満たされない毎日を過ごす響子と、彼女とは対照的に、東京に出て、誰もが憧れる人気女優として活躍している今日子。そんな2人の元に、クラス会の知らせが届く。これまでにも、度々開かれてきたクラス会で話題にあがるのは、女王、響子ではなく、女優となった今日子のこと。かつての光と影が入れ替わり、卒業以来、言葉を交わすことすらなかった2人がそこで再会を果たす…2人が向き合い、初めて語られる10年前の真実とは?



直木賞作家、辻村深月の傑作ミステリーを映画化! 学生時代、誰もが経験した「あの頃」を痛々しくもリアルに描き出す。

『鍵のない夢を見る』で第147回直木賞を受賞し、2012年に公開された映画『ツナグ』のヒットも記憶に新しい作家・辻村深月の同名小説『太陽の坐る場所』を映画化。主演には、数々の映画やドラマ、舞台で活躍する水川あさみを迎え、物語のキーパーソンとなる重要な役を木村文乃が演じるほか、三浦貴大、森カンナ、鶴見辰吾ら俳優陣が集結。監督は、原作に惚れ込み、映画化を熱望した矢崎仁司(『ストロベリーショートケイクス』『スイートリトルライズ』)。最初は不安を抱いていたという辻村も、完成した作品を観て「原作の行間まで読み取っていただいた」と称賛。また、高校生役を演じた若手キャストは、オーディションによって見出された実力派。矢崎監督曰く、「選ばれたのではなく出会った」と語る彼らの瑞々しい演技にも要注目。さらに、レミオロメンの藤巻亮太が、矢崎監督からのラブコールに応える形でソロとして初の映画主題歌を書下ろした。「アメンボ」というタイトルがつけられたこの曲は、彼女たちの繊細な心理描写を見事に歌い上げ、全編を通して描かれる突き刺さるような緊張感を解き放ち、優しく包み込んでいる。

水川あさみ 木村文乃 三浦貴大 森カンナ

古泉葵 吉田まどか 大石悠馬 山谷花純 柿本光太郎 椎名琴音 中山龍也/山中聡/鶴見辰吾

原作: 辻村深月(文春文庫刊) 監督: 矢崎仁司 脚本: 朝西真砂 主題歌: 「アメンボ」藤巻亮太

原作・工人性保力(メキス年の) 監督・大崎1、同 原本・朝191長的 土起場が・「クターの」腺を完成 繋作・野口英一 企画・中村一致 今村睦 エグゼクティブフロデューサー・小西客介 篠原公男 プロデューサー・田辺順子 鉄野弘樹 ラインプロデューサー・新野安行 アソシエイトプロデューサー・新井真理子 音楽プロデューサー・坂々水次彦 音楽・田中市人 撮影・石井恵 照明・大坂幸夫 録音・高島良太 整音・吉田産義 美術・布部律人 編集・日見田健 衣裳 江頂三絵 ヘアメイケ・渡辺順子 スクリプター・近藤食野子 助監督・鬼人秀告 キャスティンデ・福田真弓 アシスタントプロデューサー・坂巻美千代 製作・「太陽の坐る場所・製作委員会・山梨日日新開社・山梨放送、中妻モミナール・学校法人山梨学院、内藤・ウス ムスタッシュ、ファントム・フィルム、バンディット 特別協賛・山梨中央銀行 撮影協力・山梨県 富七の国やまなしフィルムコミッション 金剛協力・変替・株人 アルレンディット 製作プロダクション・ムスタッシュ 配給・ファントム・フィルム 2014 天陽の半を場所、製作を発し 2014年/日本/カラー/ビスタ/102分/DCP www.taiyo-movie.jp











10月4日(土)よりロードショー 7/1(火)より4 1,400円(税)

7/1(火)より特別鑑賞券発売!! 1,400円(税込)[当日一般1,800円のところ]

9月27日(土) もTOHOシネマズ甲府・シアターセントラルBe館を先行ロードショー

JR有楽町駅日比谷口前・有楽町ビル内 有楽町スバル座 03-3212-2826

「太陽の坐る場所」を見て 、53歳) (甲府市上石田1

なくて甘美な毒を含んだ まれていった。 となっている「現在」と、 る場所』を見た。社会人 描かれる、危うげではか の「原因的な挿話」の域 構成に、軽い戸惑いを覚 の物語が交互に展開する 高校時代の「過去」。同 超えてスリリングに解き 過去の日常。10年の時を 景の中で、みずみずしく えたのもつかの間、現在 を超えてリアルタイムで 界にぐいぐいと引き込 登場人物の二つの時制 目になじんだ盆地の情 行していく過去の物語 話題の映画『太陽の坐 ٢ とを直感させられて、晴 ドロールを見送った。 れ晴れとした気分でエン 地では、何も卑下する必 跌の真相。時間軸上のふ 明かされていく、その蹉 きていけるのだというこ 要などなく胸を張って生 ゆい光に包まれた山梨の してすがすがしい空気 を経ても変わらずに凛と を知悉した矢崎監督。時 示するが、そこはこの地 光と影の残酷な交代を暗 つの舞台の対比をも背景 たりのキョウコの対比 に、ドラマの主題である 常に直截的でまば 東京と山梨という

10.4 付

今後の上映スケジュール

東京 新宿 K's シネマ 11/21まで (予定)

(予定) 山梨 11/21 ± で マズ甲府

神奈川 シネプレックス平塚

埼玉 11/8~ ユナイテッド・シネマ春日部

長野 ドシネマズ

松本シネマラ

静岡 ヤイン沼津

> 静岡東宝会館 11/15~

11/8 愛知 ユナイテッド・シネマ豊橋 18

> 11/8 ッド・シネマ稲沢

11/8~ プレックス岡崎

イテッド・シネマ阿久比 11/22

11/1~ 石川 シネマサンシャインかほく

富山 シアター大都会 11/29

福井 11/8 福井メトロ劇場

山口 マサンシャイン下関 11/1~

香川 ソレイユ 12/6~

愛媛 ンシャイン大洲 11/1

> マサンシャイン重信 11/1

福岡 ・シネマなかま

ユナイテッド・シネマトリアス久山 11/

沖縄 桜坂劇場 12/6~

北海道 順次公開 シアターキノ

順次公開 青森 シネマディ

宮城 ーラム仙台 順次公開 フォ

順次公開 山形 フォーラム山形

ないところがいい。東京との映画ではあるけれども、いわ 梨らしさが出ながら山梨以近くて遠い距離感など、山 次のように話している。 志さんは、 県外の人でも共感 山梨らしさに加え 八映画学科准教授の北小路隆 監督、原作者と、山梨県出 映画評論家で京都造形芸術 映画評論家・北小路さん 一人が深く関わっている 映画を見た感想を

の特徴である、過去と現在の表現しないことは、この映画 外の人も共感できる部分は多 クリーンという映画ならでは れているのは、スプリットス な効果を持っている。 とてもスリリングで、 在が過去になり、

過去が現在

関係にもつながる。

すぐに現 進むが、二つの都市を行き来 する場面はあまり出てこな になって物語が展開するのは 映画の冒頭で画面が分割さ 物語は山梨と東京を舞台に 物理的な距離感をあえて

楽しんでほしい。 別の表現として生まれ変わっ はなく、 た映画「太陽の坐る場所」 画にしたのだと思う。これか 作から何かをつかみ取って映 ストーリーを映画にしたので 作り手の意識をはっきり感じ ではなく映画なのだ」という の手法。そこに「これは小説 ら見る人は一度原作を忘れ、 矢崎監督は、 もっと広い意味で原 単に原作の

10.12 付

3 付 東京新聞 10



与えられ、影だった鈴原今日子 逆転劇を面白がる同級生を交 優として華やかな世界にいた。 前者は地元に縛られた地方局の 彼女と同じ音の名前を持つため れ、クラスの女王として輝いて アナウンサーに、後者は人気女 いた高間響子(水川あさみ)と (木村文乃)。卒業して十年。 「リンちゃん」というあだ名を

ちらは水面下での女の闘いだ。 が表舞台での女の争いなら、こ るドラマ「ファーストクラス」 を絞って描いた。 なった視点で紡がれた群像劇だ 高校の同級生男女五人による異 崎仁司監督が映像化。原作では 期の同名小説を、女性の内面を 人の「キョウコ」に、より焦点 ったが、対照的な存在だった一 繊細に描くことに定評のある矢 高校時代、取り巻きを引き連 直木賞作家辻村深月さんの初 沢尻エリカ主演で続編が始ま

合いが静かに絡み合っていく。 え、女の見えとプライドの張り に表している。 1時間42分 ヒエラルキーがあった。女子特 る様子が、作品の本質を視覚的 示す月が、太陽を覆って影を作 果的。太陽に照らされて存在を 加わった「日食」のシーンも効 な余韻すら感じさせる。映画に 映像に溶け込み、読後感のよう 小説特有な言い回しも不思議と 持つ空気感を見事に作り出す。 と淡々としたせりふで、原作の される人は少なくないだろう。 感を覚えた苦い感覚を呼び起う 計り、時に劣等感を、時に優越 人と比較して自分の存在価値を 層ができていく奇妙な現象。他 連った地位の者同士で群れ、階 ら自分の立ち位置を見定め、 有かもしれないが、子どもなが いたい)が、学生時代は確かに ここまで陰険ではない(と思 無駄な音をそいだ静かな展闘

今週の 注目

高木梨恵

2人の「キョウコ」の闘 ()



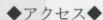
太陽の坐る場所

水川あさみ、木村文乃ら豪華キャストが山梨で撮影山梨県・富士の国やまなしフィルムコミッション全面協力

原作辻村深月(笛吹市)・監督矢崎仁司(富士川町)・主題歌藤巻亮太(笛吹市)ら山梨の才能が集結 観客動員 30,000 人突破(11/2 現在)、ミニシアターランキング第1位(興行通信調べ10/4~5)

> 新宿・K's シネマほか絶賛公開中 特別全国観賞券1,100 円販売中

新宿 K's シネマ (新宿区新宿3丁目35-133階)







JR 新宿駅 東南口 徒歩3分 /東口 徒歩5分/都営新宿線 新宿三丁目駅 C1 出口 徒歩4分 東京メトロ 丸の内線 新宿三丁目駅 A5 出口 徒歩2分/東京メトロ 副都心線 新宿三丁目駅 E9 出口 徒歩2分